

大崎市立古川第四小学校

# 学校だより

URL <http://www2.educ.osaki.miyagi.jp/furukawa4-s/> (非常時)<http://blog.goo.ne.jp/f4es8006>

平成27年 1月 13日

Tel 0229-23-8006

Fax 0229-23-8007



学校教育目標:「自ら学び共にみがき合い 心豊かでたくましい児童の育成」

校長	小山 善史	児童数	767	住所	大崎市古川大宮八丁目2番1号
----	-------	-----	-----	----	----------------

## 世界の「ホンダ」創業者、本田宗一郎氏の考え方に学ぶ

～ 著書「得意に帆あげて」が教えていること(始業式での校長講話から) ～



皆さん、明けましておめでとうございます。今朝は、とても寒くて、足下も滑るなどして登校も大変ではなかったですか。それでも、朝から、皆さんの元気な声が聞こえてきてとてもうれしく思っています。そんなことから、お正月も楽しく過ごせたのではないかと感じているところです。

さて、『一年の計は元旦にあり』といひます。校長先生が読んだ、本田宗一郎さんが書いた「得意に帆あげて」という本から、このことについてお話をします。

本田宗一郎さんは本田技研工業という会社を創った人で、オートバイや車、F1、アシモ(ロボット)、ジェット機などでも有名な会社です。皆さんのお家の人で「ホンダ」のメーカーの車に乗っている人も多いと思います。

ところで題名にある「得意」は得意なこと、「帆」というのは風の力を利用して船を動かす道具のことで、「追い風に帆をあげるように、得意なことをチャンスをつかえて伸ばす」という意味です。

本田さんの会社には働いている人がたくさんいます。この人達の考えはみんな違っていますが、それらの良さを合わせるとすばらしいものができあがります。いろんな楽器があつて、みんな音色が違うのに、一緒に心を合わせると、素晴らしい音楽になるオーケストラと同じです。つまり**違いの良さを生かそう**ということです。

皆さんの学級に置き換えて考えてみましょう。皆さんの学級にも、たくさんのお友達がいますが、一人ひとりの顔が違うように、男の子だったり女の子だったり、背が高い人や足が速い人がいたりします。その他にも**得意なことみんな違います**。一人ひとりのいろいろな良さが集まっているのが学級です。ですから、その中で、一人ひとりが自分の良さを発揮すること、そしてお互いにその良さを見付け、認め、頑張っている姿を励まし合うことが大切なのです。協力して良い学級にしてほしいと思います。誰にも必ず良さはあるのです。

本田宗一郎さんの「得意に帆あげて」は、それぞれの違いでもある「得意なこと」を伸ばし、「自信」をもつことです。今年一年、誰もが自分の良さを伸ばす取組に励むことをめあてに頑張してほしいと思っています。

※厳しい寒さのため、子どもたちの健康保持とインフルエンザ予防などから、放送による始業式としました。

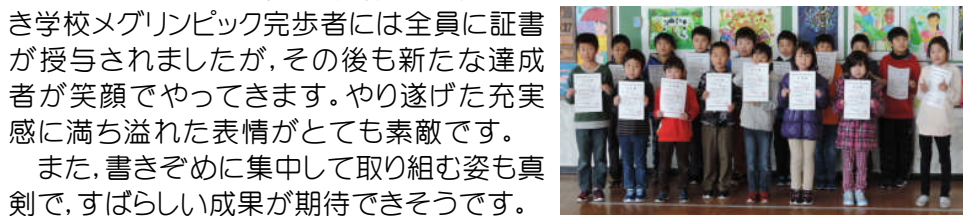
## 新学期のスタート、意欲をもって動き始めた子どもたち

～ 自分の「良さ」を自信につなげるために… ～

始業式での校長先生のお話を、子どもたちは、早速、意欲的に実践していてとても感心しています。おおさ



(真剣な眼差しで書きぞめに臨む4年生)



(積極的に取り組み、次々に完歩者となって喜ぶ3年生)

※新たな完歩者の子どもたちの写真も、校長室前の廊下に掲示していきます。来校の際に、どうぞご覧ください。

☆ホームページは毎日、更新しています。(お子さんの学校での日々の様子を、是非、ご覧ください。)

新しい年を迎えました。お陰様で、冬季休業中の事故も無く、また、インフルエンザも流行せず、みんな元気な顔を見せていました。これも、ひとえに保護者、並びに地域の皆様の温かな見守りによるものと心より感謝しております。学校でも、子どもたちの健康と安全を基本に、ますます、知育・徳育・体育・食育など、調和のとれた成長を目指して参ります。本年もご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## それぞれの思い出、反省、そして新年の誓いへ

～ 「児童代表の発表 三学期を迎えて」 から ～

※原文ではありません。内容を短くまとめています。ご了承ください。



2年 O.Aさん

私の冬休みの思い出は、三つあります。

一つ目はサンタさんからのプレゼントです。中身は、ご当地鉄道のゲーム。弟はアンパンマンの回転寿司でした。私も感謝の気持ちでサンタさんにプレゼントをあげました。トナカイのネックレスとプレスレットとキーホルダーです。サンタさんが「プレゼントありがとう」と書いてくれたので、いいクリスマスになりました。

二つ目は、アンパンマン子どもミュージアムに新幹線で行ったことです。アンパンマンのショーを見ました。ショーが終わって、風船とぬいぐるみを買いました。

三つ目は、雪遊びです。「かまくら」と「ゆきだるま」を作りました。雪合戦もしました。「ゆきだるま作り」では、大きすぎて運べなかったのがソリで運びました。ソリを引いたので腰が痛かったけど楽しかったです。

三学期のめあては①廊下を走らない②テストのミスをなくす③友達と仲良くする、の三つです。100点をたくさんとって、友達と仲良くする三学期にしていきたいです。

ぼくは、冬休みに思い出に残ったことが三つあります。

一つ目は、定義如来に初詣に行ったことです。おみくじをひいたら中吉でした。大吉の次に良かったのでうれしかったです。願い事は言ったら叶わないかもしれないので、秘密にします。

二つ目は、光のページェントに行ったことです。5歳の妹も「きれい、また来たい。」と叫ぶくらい、きれいでした。たくさんの電球の中から、ピンク色の光を見つけたときは、びっくりしました。東北電力に校外学習で行ったときに、節電の大切さを知りました。光のページェントもLEDを使って節電しているので、発明した人はすごいと思います。

三つ目は、お正月にお餅を食べたことです。ぼくの家では、あんこ餅やごま餅、のり餅などを食べました。ぼくたちが住んでいる大崎市は、お米がたくさん作られています。だから、お餅の材料になる餅米もおいしくできると思いました。仙台や大崎市の良さをたくさん発見した冬休みでした。



4年 A.Tさん



6年 I.Tさん

ぼくの二学期の反省は、挨拶です。朝、学校に来た時に、先生が先で、ぼくが返すことが多かったのが、自分から先に、しかも立ち止まっての挨拶をできるようにしたいです。

二学期によかったと思うことは、二つあります。

一つ目は、友達と仲よく遊ぶことができたことです。これからも、たくさんの友達と友情を深めていきたいと思います。

二つ目は、授業中にしっかりと手を挙げ、たくさん発表できたことです。今後も自分の考えを進んで発表できるようにしたいです。

ぼくの三学期のめあては三つあります。一つ目は、卒業までに立ち止まり挨拶を積極的に言い、学校中に広めることです。全校のみんなが、立ち止まり、目を合わせての挨拶ができる学校にしていきたいです。

二つ目は、授業中の態度です。余計なおしゃべりをせず、また姿勢を崩さずに、集中して取り組みます。

三つ目は、卓球です。昨年は全国大会の団体戦で優勝することができました。今年は台の上でのプレーがうまくなるように力を入れて練習をし、県選抜でもよい成績を残せるように頑張りたいです。

このように、二学期の反省を生かして、よりよい三学期にしていきたいと思います。三学期は、小学校生活最後の三か月となるので、思い出をたくさんつくり、卒業に向けて頑張っていきたいです。

## よりよい四小を願った、「期待」の声を生かすために

～ 学校が、PTAが、今、考えていること ～

11月号で「本校の教育活動に対するアンケート」の結果を受け、「学校、保護者、地域の皆様それぞれが、互いに良好な関係を保ちつつ何をすべきなのか、一緒に知恵を働かせ、取り組む機会としたい」と書きました。

公表前ですが、「ゲームに費やす時間」「宿題への取組」「約束の守り方」等が課題として浮かびあがってきており、校長先生がお話をしたり、PTA役員の皆さんと次年度を見据えた計画を立てたりしています。より良い四小を目指して取り組んで参りますので、保護者や地域の皆様にも、是非、ご協力をお願いいたします。

### 〈終業式で校長先生がお話したこと〉

○「お家で本を読む時間を増やそう」をテーマに、「お家でゲームや携帯電話などに使う時間は多くないですか」と問い掛け、グラフを示しながら、「お家で毎日1時間勉強しても、1時間以上ゲームをするとテストの点数が下がる」ことを説明していただきました。

### 〈PTA主体で推進しようと企画していること〉

○結果の公表を受けて、各家庭で話し合い、協力いただきたいことを働き掛ける。  
○学習参観後の懇談会での話題としてもらう。  
○次年度のPTA総会后に保護者対象に講演会を行う。  
○同じ時間帯に全児童に生活に係る話を行う。